

## 【家庭教育支援チーム】

<b>チーム名 (呼称)</b>	松戸市家庭教育支援チーム (呼称: NPO 法人子どもとまつど ) URL: <a href="http://kodomotto-matsudo.com/">http://kodomotto-matsudo.com/</a>
<b>活動開始年度</b>	昭和49年度
<b>活動拠点</b>	千葉県松戸市内の市民センター、市民会館、市民劇場、公園など
<b>活動範囲</b>	千葉県松戸市内
<b>活動財源</b>	□文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) □地方単独事業として実施 ☑特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 ☑その他の支援により活動を実施 (各事業の活動計画を策定し、子どもゆめ基金や年賀寄附金配分事業などの助成を受けて活動しています)
<b>組織体制</b>	理事 5名 監事 2名 事務局 1名 活動会員 15名 旧称:松戸子ども劇場の役員と会員で構成されております。
<b>具体的な活動内容</b>	2014 年度活動実績 【自然体験・ものづくり体験】 ・子ども自然・アート体験教室 全 6 回(6 月～12 月) ・たのたのさんの科学教室 全 3 回(7 月・8 月・1 月) ・表現ワークショップ・みんなでアート「親子でオペラ」(8 月) ・食育講座「作ってみよう！私のおべんとう」全4回(10 月～12 月) ・キッズ陶芸教室(松戸青少年会館 講師派遣) ・落語体験教室(松戸青少年会館 講師・スタッフ派遣)  <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> (子ども自然・アート) (キッズ落語体験教室) (作ってみよう！私のおべんとう) 【子どもの時こそ大切な障がい者との交流事業】 ・障がいを持つ講師によるお菓子づくり「私もパティシエ？」全 3 回(6 月 12 月 2 月) ・手話体験講座「耳が聞こえないってどんなこと？」全4回(10 月 11 月 1 月) ・ワークショップ「音・おと・オト」1 回 ろうあ者と健常者で構成されている人形劇団デフ・パペットシアターひとみのワークショップ

・点字講座「未来っ子・点てん」毎月1回



(私もパティシエ?)



(手話講座)



(未来っ子・点てん)

【乳幼児の親子の子育て支援】

・おやこの広場・るーぷる (毎月第1・第3水曜日)

・編み物サークル「ママあむ」(毎月第2・第4金曜日)



(おやこの広場・るーぷる)

【舞台・芸術鑑賞事業】

・松元ヒロソロライブ 2月

・ひとみ座公演 人形劇「あまんじゃくとうりこひめ」



【地域との協働事業】

・宿題寺子屋～じいちゃんと宿題をし遊ぼう～ 毎週土曜日

・黄色いハンカチ～交流サロン～ 東日本大震災復興支援プロジェクト  
毎週 火・水・木曜日

・松戸・東松島子ども交流プロジェクト

活動を通して感じ  
ていること  
(成果・課題など)

近年、子どもの世界から三間(サンマ)が激減しました。時間、空間、仲間です。子どもたちはこのサンマが保障される中で思いっきり遊び、ケンカをしたりして、社会性を身につけていきます。そのことが「生きる力」につながります。社会は便利さを追い求めることと引き換えに人と人との関わりが希薄になり、そして子育ての孤立化が進みました。子どもたちは、学校、お稽古事、学習塾などの限られた人との関わりの中で競争の世界にさらされています。ますます進むIT化の中で子どもがゲーム機で遊ぶ時間が長くなりました。公園で子どもが遊ぶ姿も見なくなりました。犯罪から子どもを守るために、知らない人に声をかけられても口を利いてはいけないと教えられています。そのため、学校の往復は決められた道を通らなくてはなりません。道草や冒険の楽しみがなくなりました。子どもが育つ社会環境は、私たちの目から見ると本当に脆弱になりました。

自然の中での遊びをとおして五感を刺激すること。多様な人々とのかかわりの中で社会を学ぶこと。ものづくりや豊かな文化に出会い創造性を育むこと。

それらの一つひとつを子どもたちの生活環境に組み込んでいかななくてはならない時代になってきていると痛感しています。